

2015年2月23日(月)

秋田県横手市の冬季防災訓練において、 Lアラートと当社のスマートフォンアプリを連携させた避難誘導訓練を実施

株式会社協和エクシオ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：小園文典）は、2015年2月22日に行われた秋田県横手市の冬季防災訓練において、災害情報共有システム「Lアラート[※]」と、当社の開発したスマートフォン・タブレット向け観光防災総合アプリ「EXTravel（エクストラベル）」を連携させた避難誘導訓練に、アプリケーションの提供などの協力を実施しました。

※「災害情報共有システム(Lアラート)」は、安心・安全に関わる公的情報など、住民が必要とする情報が迅速かつ正確に住民に伝えられることを目的とした情報基盤

同訓練は、横手市住民および土地鑑のない来訪者を、事前にインストールした「EXTravel」で受信した緊急地震速報により一時避難所へ避難誘導し、その後、市役所職員が配信したLアラート情報により実際に開設された避難所へ避難誘導したもので、実際の災害発生時を想定した実践的な訓練となりました。

【訓練の背景と目的】

秋田県横手市では、近年の異常気象への対応や高齢化社会における安心・安全な地域づくりを目指し、積雪期に大地震が発生した場合の防災・減災への準備に万全を期す目的で、昨年2月に全国で初となる冬季防災訓練を実施しており、今年2回目の実施を致しました。特に冬季は交通網が停滞することも多く、災害時の迅速な避難・安全確保には、自治体からの迅速な避難所情報などの情報配信が重要であるという認識から、秋田県情報集約配信基盤「情報の架け橋」とLアラートを連携させた、適切な情報配信に力を入れています。

Lアラートは、避難勧告・指示情報、避難所情報をはじめとする様々な自治体が発する情報を、放送、インターネットなどの様々なメディアを通して配信できる有用性が高いシステムですが、地域住民等に直接配信が可能な通信端末との連携に関しては、横手市ではこれまで実績がなかったため、今回の冬季防災訓練において、「Lアラートとスマートフォンを連携させた避難誘導訓練」を実施し、住民および来訪者を想定した訓練参加者への避難誘導に「Lアラート」と「EXTravel」を活用したものです。

【避難訓練の内容】

◇実施日時

平成27年2月22日（日） 午前9時00分～午前11時00分

◇実施場所

横手市冬季防災検証訓練避難所 横手高校青雲館（定時制）周辺地区
（横手市前郷二番町10番1号周辺）

◇実施概要

- ・横手市冬期防災訓において、横手市が避難所から Lアラート（災害情報共有システム）を訓練モードで配信
- ・「EXTravel」で緊急地震速報を受信し、一時避難所へ避難。その後、市から配信された Lアラート情報で、地図上に表示された避難所（最終避難所）へ誘導を実施

◇実施主体

秋田県横手市、(株)NTT ドコモ 秋田支店
【協力】秋田県、(株)協和エクシオ、エポネット(株)

【「EXTravel」画面イメージ図】

スマートフォン・タブレット向け観光防災総合アプリ「EXTravel」は、平常時は観光ナビとして稼働していますが、緊急時に Lアラート情報（避難勧告、指示情報、避難所情報）を受信すると、強制的に緊急速報画面に切り替わります。合わせて、“MAP”上に現在地と避難所の地図を表示します。

■TOP画面



■Lアラート緊急速報画面



■避難所表示画面



【今後について】

今回の訓練を通じて得られた有効性や改善点、結果等を踏まえ性能の向上を図るとともに、日本全国の各自治体へ導入の提案をしていく予定です。

本資料に関する報道機関からのお問い合わせ先

株式会社 協和エクシオ

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-29-20 総務部 CSR・広報室

電話：03-5778-1075（直） FAX：03-5778-1228

担当：高柳 圭伸